

# analog

analog  
アナロググランプリ  
Grand Prix  
2020

## 発表 アナロググランプリ 2020 人生を豊かにする逸品達

家でゆっくり  
レコード、聴こう

レコード悦楽人  
井筒香奈江

長く使える  
スタンダード  
プレーヤーを探せ!

●「グラウンドアレイ」の誕生  
高周波ノイズ対策に挑む  
コード社のケーブル技術

革新的なノイズポンププラグである「グラウンドアレイ」。本誌では64号で初披露して以来、その素晴らしい効果が急速に認知され、いよいよ製品バージョンが体験できることとなった。そこで今回は「グラウンドアレイ」の使いこなしにフォーカスしてみよう。空き端子に1本差せばシステム全体が覚醒する。という感想は今でも変わらないが、それでは2本、3本と増やしていくたら一体何が起きるのか！その試験実験は後半に譲るとして、まずは改めて英国コード・カンパニーの来歴を語ろう。現代の環境下で飛び交っている高周波ノイズがオーディオケーブルに及ぼす影響を世界に先駆けて発見、研究したケーブルメーカーであり、高度なシールド等数々の技術に挑戦してきた。

なかでも他社の追随を許さないのが「アレイ」という独自のテクノロジーだ。ケーブルにもう1本、端をカットしたアレイ線を入れるなんて誰も思いつかないだろう。

## 英国コード・カンパニーの最新兵器「ノイズポンプ」 “グラウンドアレイ” 「どこに」「何本」使うのがいいのか？

英国のケーブルブランド、コード・カンパニーから登場した「グラウンドアレイ」がいよいよ本格発売を開始した。本年度の「オーディオアクセサリ銘機賞2020」でも最高峰のグランプリに輝いた同アイテム。その通称は“ノイズポンプ”。機器の空き端子に挿入し、機器内のノイズを吸い取るという全く新ジャンルのアイテム。その効果は果たしてどこまであるのだろうか？そこで本項では、当初は1本でも十分な効果があると言われていた「グラウンドアレイ」は、空き端子の挿入力によって効果は違うのか？複数使用するとどうなるのか？等々の使いこなしを検証。また、同社の上位モデルのケーブルに投入され、本機の開発の起源となった独自の“アレイ技術”の効果を再度体験した上で、試作品からその性能はさらに良くなり発売にいたった「グラウンドアレイ」の魅力に実践形式で迫る。



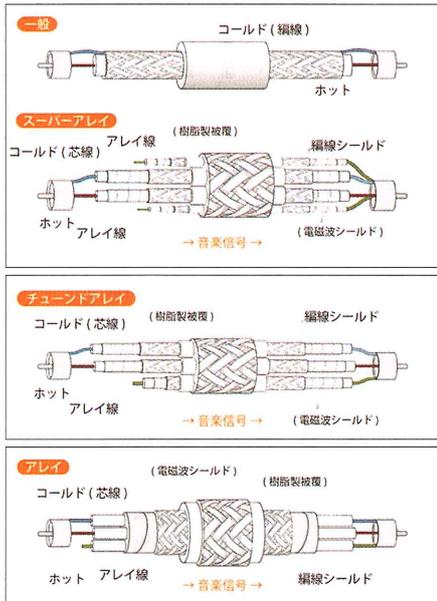
Text by  
**林正儀**  
Masanori Hayashi



**The Chord Company**  
**Ground ARAY**

ノイズポンプ プラグ  
¥88,000(1個・税別)

※写真のRCA、LAN(RJ45)のほかにもXLRのオスとメス、HDMI、USB-AとBNC仕様も含めて7種類がラインアップ  
●サイズ：全長約90mm×直径約20mm(端子部分を除く)  
●質量：58g●取り扱い：アンダンテラルゴ(株)



「グラウンドアレイ」の源流となるコードカンパニーのアレイ・テクノロジー。革新的な技術として同社のインターコネクトケーブルの中級から上級モデルで採用されている。プラグの接点において発生する「反射現象」を解決する手法で、「アレイ」チューンドアレイ、上位モデルの「セイラムT」や「コードミュージック」に採用されている「スーパーアレイ」まで、3ランクに分けられている

この「アレイ」技術のノウハウから生まれたのが、ノイズ対策専用アイテム。「グラウンド

コード社のケーブルを取り扱うアンダグンテラルゴの試聴室には最高峰ケーブルである「コー

「アレイ」技術から誕生  
ノイズを根こそぎ吸い上げる

その上にはアレイ線を専用ミリ単位の精度で装着した「チューンドアレイ」。さらにホット、コールド、アースに「チューンドアレイ」を3本つけた最高技術の「スーパーアレイ」は、上位モデルの「ミュージック」と「セイラム」のみで採用されるスペシャルなものだ。この「アレイ」技術は、上位モデルから徐々に採用されはじめ、「シグネチャー」「エピック」など中級グレードにも投入され始め、その製品群のコストパフォーマンスはさらに高まっている。

S/Nや純度が違いすぎる  
音楽を根底から変える効果

「アレイ」技術の効果  
音質的には車でいうところのスーパーチャージャーくらいに飛躍が「アレイ」に与えられたといつてよいだろう。よって大袈裟でなく、「アレイ」をつけることでリミットされていたポテンシャルが、天井知らずで伸びやかになるから驚愕ものだ。最高グレードの他社製品もぜひ聴き比べて欲しいものだ。

「アレイ」効果を実感する。ぜひとも聴き比べたかったのがロト指揮による『ベルリオーズ／幻想交響曲』(HMSA0041/SACDシングル盤)である。「アレイ」なしだと表情が平坦だし粒が粗く、古楽器の雰囲気や精密感に欠ける。それが「アレイ」によってピシッと縦横が揃うのだ。フォーカスや遠近も明快となって、弦や木管のエレガントな歌いまわしも実に素晴らしい。4楽章の「断頭台への行進」では震えがくるよ

ドミュージック」のXLRインターコネクトケーブルが2本用意されていた。同一条件の1mもので、ひとつはアレイ線を外し、他はそのままの標準仕様。「スーパーアレイ」のあり／なしテストは久しぶりだが、LINNのCDプレーヤーとプリ間で試すと、これはもう誰が聴いても瞬時に分かるほどにS/Nや純度感が違う。ノイズに負けてぼやつと霞がかかると、晴れやかにクリーンに見通せるかという違いである。空間情報の量そのものやダイナミックな広がり、実在感として色彩感など、そもそも音と音楽の成り立ちが根底から違って、凄まじい「アレイ」効果を実感する。



CDプレーヤーはデジタル出力(RCA)に1本と、アナログ出力にはL/R各1本ずつを差す

うなスーパーチャージャー効果味わえる。

「グラウンドアレイ」の効果  
CDプレーヤーで試す

おすすめは「デジタル差し、静寂感が音に直結する」  
さて本命の「グラウンドアレイ」試聴である。RCA、XLRのオスとメス、そしてBNC、LAN、HDMI、USB-Aがラインアップされており、この7種類をどう使うかが、まずはアナログのRCA入力とデジタル入力に絞って、試聴システムの空き端子の7カ所に差してみた。内訳はCDプレーヤーがアナログ出力×2本、デジタル出力×1本の計3本。プリはアナログ入力×2本、パワーアンプにも2本差している。

全部差したと3+2+2=7本でかなりの数だが、なかでも興味津々なのがCDプレーヤーの3本差しである。回路的な理屈で言うとプレーヤーの中心はデジタル回路なので、デジタルインの方が効きそうな気がする。いやいや、アナログインの2本も重要なのか? 1カ所で十分なのか? これは耳で聴くしかない。信号ケーブルは「ミュージック」を使い、「幻想」の頭のフリーズと比較しよう。もちろんベストは3本差しだが、意外とデジタル出力の1本差しの健闘が目立った。

ノイズ吸収の特性だろうか?  
アナログ2本差しよりもS/N

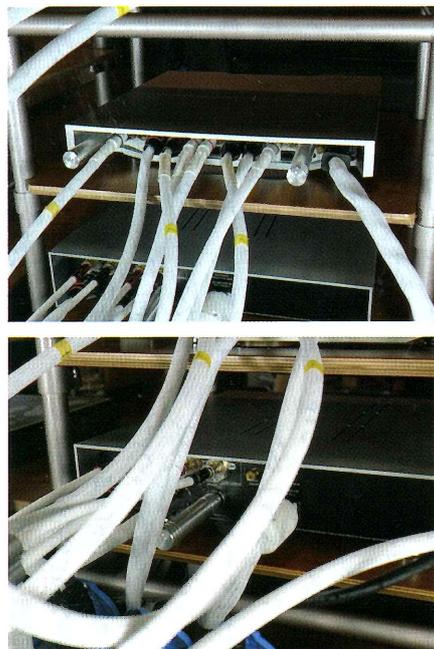
や静寂感が音に直結しているように、弱奏ティンパニのキレがよく立ち上がり明快。ファゴットの遠近や空気感も生々しい。古楽器の微細な響きを引き出す。一方で金管や弦バスの力強いエネルギー感ならアナログ2本差しが効いている。  
結論として、最初の1本はまずデジタルで使い、余裕ができたならアナログ系の空き端子、追加差しがベターだ。

プリ/パワーアンプで試す  
**差す空き端子や本数によって  
 明らかな音質効果を発揮**

CDプレーヤーは2カ所差しのまま、プリは0ー片chー両chの3パターンを聴き比べよう。数が増えるほど雑味やきつさが消えて、弦の濡れたようなみずみずしさや響きの余韻感が抜群だ。パワーアンプも同様に、0

ー片chー両chだが、音色の傾向はほぼ保ったまま、本数が多いほど空間が密になり演奏のエネ

ルギー表現が確かに高まった。あくまで筆者の印象だが、差すカ所や本数によって、明らかな差が聴けるのはユーザー冥利だ。ひとつ断っておくと、「スーパーアレイ採用のケーブルがあればグラウンドアレイは必要ない



プリアンプはアナログ入力(RCA)にL/R各1本ずつ、パワーアンプにもRCA入力にL/R各1本ずつを差す

のでは？」というの間違だといふことが今回の試聴でわかった。むしろ併用して欲しいケースだ。ただし、異なるメーカーの空き端子対策アクセサリと併用することはグラウンドアレイ本来の効果が発揮できない場合もあるようだ。ぜひとも各々、別々でテストし効果をジャッジしてほしい。

**「悦楽人」宅でも効果を体験  
 鳥肌ものの陰影感や深みで  
 超広域再生での効果は如実**

最後は番外編で、ルーム環境やシステムが変わると「グラウンドアレイ」の効果はどう出るのか? 本誌の「レコード悦楽人登場!」にも出ていただき、コード・ケーブルのユーザーでもある高橋 潤さんのお宅に場所

を移して試聴した。ユニバーサル・プレーヤーとプリアンプはAyre製。ピオラのチャンネルバでパワーアンプはオール・マークレビンソン。スピーカーは大型の4ウェイというハイエンドなシステムである。

高橋さんのシステムは、とにかく空き端子が多い! 数えきれないくらいだが、打てば響く反応のよい装置だからこそ、どんな効果も鮮烈に出るはずだ。アールン・ネヴィル、シヨーン・コルヴェンという定番のグラミー賞歌手をかけてもらい、プレーヤーから対策を開始。

まず1本差した。「やはりデジタルからでしょう」。高橋さんの声が飛んだ。みなさん息を呑む。どんな微細音も逃さず、さらに空間の純度とS/Nを高めてくる感触だ。続いてアナログ出力にもう1本。陰影感や深みが増して、鳥肌の立つ効果だった。「じゃあプレーヤーに2本ずつ、プリにもう1本さして、チャンネルバに2本」……こうして次々に増設していくのだが、

副作用なく効果も飽和せず、いくらでもリニアにアップするからもう納得するしかない。

身を乗り出したのは、最後にトウイーター駆動専用のパワーアンプの空き端子に2本差した時である。超高域は倍音やエア感を大きく左右することが如実にわかるだろう。リンダ・ロンシュタットの美声がさらに透き通って空間へと伸び、オーバードビングの豊かなハモリに包まれた。その後拙宅でもさまざま実験中だ「グラウンドアレイ」の素晴らしい魅力や新発見など、いずれ報告したいと思う。



本誌「レコード悦楽人登場!」にも出ていただき、コード・ケーブルのユーザーでもある高橋 潤さんのお宅でも「グラウンドアレイ」の効果を体験



「グラウンドアレイ」は写真のRCAとXLRのオスとメス、LAN (RJ45) のほかにもHDMI、USB-AとBNC仕様も含めた7種類がラインアップ。アナログ、デジタルを問わず効果を発揮する。特に最新のブルーレイ・プレイヤー、大型プロジェクター等の高性能AV機器では一目瞭然、絶大なる効果が確認できる

**「グラウンドアレイ」の効果を自宅システムで体験できる、無料貸し出しサービスも実施中**

次々に増設しても副作用なく効果も飽和しない  
 いくらでもリニアにアップし、納得するしかない